



Q：最近、みぞおちが苦しく、胸焼けやゲップが出ます。胃が悪いのでしょうか？（47歳・会社員）

A：それは胃の不調ではなく、「逆流性食道炎」かもしれません。主な症状は、胸が焼けるような感じ、ゲップ、重苦しさ、おなかの張り感、喉のイガイガなど。食生活の欧米化、飲酒・肥満など生活習慣の悪化、ストレスや高齢化により、日本人に急増している病気です。

通常、食道と胃の境界部にある下部食道括約筋（かぶつやくきん）の力で、胃の内容物は食道内に逆流りしません。ところが、この締めまりが悪くなると、胃液が食道へ逆

流し、胃酸によって食道の粘膜がただれてしまいます。診断は、問診と内視鏡検査。まず、症状が悪性疾患によるものかどうか、食道の炎症状態を確認します。

治療は、胃酸分泌抑制剤の内服と、生活習慣の改善が基本。まず、お酒（ビールや発泡酒）は控えましょう。下部食道括約筋を緩め、炭酸ガスで



胃が膨らむと逆流を起こします。また、便秘や肥満は、腹圧が上がり逆流しやすくなるので、解消しましょう。詳しくは、医師とご相談ください。

（岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニッコー北口駅前ビル2F）

☎0555・2888・1801